

『お金』と『ノーベル賞』との関係

2018年も日本からノーベル賞受賞者が出ましたね。過去、日本人受賞者は延べ27名(日本国籍と日本出身者含む)。物理学賞11名、化学賞7名、生理学・医学賞5名、文学賞3名、平和賞1名。

ノーベル賞の歴史や偉大さ、権威についてはご存知の通りですが、例えば2014年ノーベル物理学賞を共同で受賞した元日亜化学工業(株)の中村修二氏は民間企業の社員でありながら、高輝度青色発光ダイオードを開発した。これにより、LED電球の実用化が進み、家庭の電灯の主流は白熱灯からLEDに一気に変わってきている状況です。世界を変える発明ですよ。

ところで、1901年から始まったノーベル賞の歴史の中で、唯一日本人が受賞出来ていない分野が一つだけあることをご存じですか？それは……

ノーベル経済学賞！

世界トップクラスの勤勉さと貯蓄性向の高さを誇る日本人ですが、現役時代は何とかやり繰りしても、退職後に破綻してしまう場合があります。なぜ、そんなことが起こってしまうのか？一般的に欧米の方が勤労に対する意欲は低く、貯蓄性向も低いと言われています。しかし、OECD等が発表する幸福度ランキングでは日本は常に下位。しかも、年齢が上がればその差は開いていく一方。歳を重ねると不幸になってしまう日本人。

その原因は、お金のこと、つまり経済のことを世界レベルで研究する学者が今まで日本にはいなかったことも一つなのではないでしょうか。事実、ノーベル経済学賞を多く輩出して

いる米国（46名）、英国（7名）は世界幸福度ランキングでも上位に位置し、かつ家計金融資産も1995年から2015年までの20年間で米国は3.32倍、英国は2.46倍、そして日本はわずか1.54倍（金融庁レポート2017）。日本人が勤勉に働き得た収入はどこにいったのでしょうか？

翌月号へつづく

◆次号の予告◆

・1990年にノーベル経済学賞受賞のアメリカの経済学者・ハリー・マーコウィッツの「資産運用の安全性を高めるための一般理論形成」について

・20世紀最大の天才 アインシュタイン（ノーベル物理学賞・1921年）が明言する意外と知らない「人類最大の発明」とは？

以上、難しい内容のように感じますが、同封物「はじめての資産運用」～お金の殖やし方のコツ教えます～と併せて分かり易く解説しますので、お楽しみに！！

ソニー生命保険 株式会社 大分支社

〒870-0029 大分市高砂町2-500 A S I Sひろば21 9階

TEL097-532-9200 ライフプランナー・山田 新悟

S L : 1 8 - 3 2 2 0 - 0 0 6 7